

第二次世界大戦——基本的性格

——原因・正体、口実、事実、基礎データ

04.1.24 第9回歴史講座

前回、8回（7回は誤り、番号のダブリです）の資料。日、独、伊のファシズム国家の動きからの年表を創ってみました（日独伊三国同盟と第二次世界大戦・岩波ブックレットを土台にして）。+資料ドイツ、イタリア、日本の大陸侵略図（年代入り）をお渡ししました。今回「テーマ別世界史」より、大戦の過程、性格に関連して、4頁分の図式化した資料。

1936～36年。日、独、伊の接近。旧秩序——ベルサイユ体制・ワシントン体制の「旧秩序」を打破し、「世界新秩序」形成に活発化。

1931.9.18 柳条湖事件。満州事変。15年戦争へ。

1932.3.1 満州国建国宣言

1933.1.30 ヒットラー内閣成立

1935.10.3 アビシニア戦争（エチオピア）——イタリア侵略。国際連盟の対応をめぐり権威が最終的に失墜。日、独、伊3国の結束に大きな影響。満州事変の影響大きい。

***コミンテルン第7回大会。反ファシズム統一戦線政策。日独伊の戦争拡大危機に反対す国際統一戦線結成呼びかけ。「社会ファシズム」克服。スペイン、仏に人民戦線内閣**

1936.7.17 スペイン内乱

10.25 ローマ、ベルリン枢軸成立

11.25 日独防共協定調印

1938.3.13 ドイツ、オーストリア併合

英・仏・独・伊、ミュンヘン会談

11.3 近衛首相、東亜新秩序建設声明

1939.5.22 独・伊軍事同盟調印

8.23 独ソ不可侵条約調印

9.3 **第二次世界大戦はじまる** ポーランド侵入、

1940.4.9 ドイツ軍攻勢

6.10 イタリア参戦

7.26 近衛内閣、「基本国策要綱」で大東亜新秩序建設明記。

9.27 **日独伊三国同盟成立**

1941.4.13 日ソ中立条約調印。「満州国」を枢軸国以外で事実上認める数少ない国の一つに。

6.22 独ソ戦はじまる

7.3 南部仏印進駐。仏受け入れ。米、自国の日本資産凍結。英、オランダも。8.1米から日本への石油輸出全面的に停止。大打撃を逆用して米英との戦争突入で、南方資源獲得へ。「ABC包囲陣」で日本圧迫の宣伝。

12.8 太平洋戦争はじまる

1942.1.1 連合国共同宣言調印

1943.9.3 **イタリア降伏** 1945.5.7 **ドイツ降伏** 8.15 **日本降伏**

1. 戦争の規模と実体。

25年前の第一次戦に比較にならないほどの規模（人的損失の数字がいまもって、何種類もある）。

第一次の主戦場はヨーロッパでそれもドイツ、オーストリア周辺。二次はヨーロッパ全域、北アメリカ、中国、東南アジア、太平洋地域。世界の五分の四が戦争に。1億1千万人の兵士が戦場に。

1次死者1900万人。負傷2200万人（岩波新書昭和史）

2次 死者5～6000万人（上田、戦争・憲法と常備軍）

* ファシズム国家の侵略図資料。

* 朝日ジュニアブック日本の歴史。当時、日本とアメリカの石油、鉄など主要物資の生産比は **1 : 77.6** しかも日本は戦争に必要な物資のほとんどをアメリカにたよっていた。なぜ、戦争。1940年頃の中国侵略行き詰まり。打開のために東南アジアへの侵略（南進）。2つの。南進目的。1は東南アジア経由での米、英、仏など中国への援助物資ルート裁ち切り。もう一つは、インドネシアなどの石油、ゴム、スズなどの資源を手に入れること。そこでこれら地域の支配者英、オランダ、仏、米と対立拡大。

イギリスは、対ソ連も先。

ドイツ・伊の侵襲に對し、黙認した。
「親和政策」

等

2, **第一次世界大戦** (植民地再分割の最初の典型的戦争)と**第二次世界大戦の性格**に関連して (岩波新書「昭和史」248頁)。・・・3つの性格が絡み合っていた。第1は、枢軸諸国と反枢軸諸国 (連合国) との、双方からの帝国主義戦争という性格。アジアでの日本と米・英、ヨーロッパでの独・伊対米、英、仏間の戦争には、この面が強い。第2は、ファシスト諸国の侵略に対し、平和と民主主義を守ろうとする反ファシズム戦争としての性格。42.1の連合国共同声明は、戦争目的を「生命・自由・独立・宗教的自由を擁護し、自国のみならず他国においても人権、正義を保持するため」と述べた。ソ連がドイツと戦い連合国に加わったことは、この性格を強めた。第3は、被抑圧民族の民族解放戦争という性格で、日本帝国主義に対する中国国民の戦い、独・伊の占領地域下の諸国民のレジスタンス運動の面で表れていた。・・・45年6月設立された国際連合が、国際連盟とちがって米、英、仏、ソ、中の5大国一致の原則に立ち、拒否権を承認したのは、戦争中の反ファシズム連合の勢力を維持することが、戦後の世界平和を守るとりでだと考えたから。(中林・世界労働運動の歴史) —世界労連誕生。歴史上はじめて統一体 (45.10.20。56ヶ国 6400万人以上の労働者の代表参加。反ファシズム闘争の成果。塩田・日本労働運動の歴史・第二次世界大戦の性格と特徴は、もともとは、日本、ドイツ、イタリアという、比較的おくれで発達した帝国主義国が、イギリス、アメリカ、フランスなど、一足先に進んでいた帝国主義のナワ張りになぐりこみをかけて、植民地の再分割をねらったことが原因でおこったことですから、独占資本主義国の利害の衝突からおこった帝国主義戦争でした。ところが、先に手を出して侵略を開始したのが、ファシズム・軍国主義国家だったことから侵略をうけた連合国側からいえば、この戦争には当初から民主主義の防衛、民族独立の擁護という性質が。・・・ソビエト (当時、モンゴルを除く唯一の社会主義国) へ侵略をしかけ、ソビエトが連合国側に参加する。・・・民主主義防衛の反ファシズム戦争の性格がはっきりと表面化。

国連憲章前文。「われら連合国の人民は、われらの一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、基本的人権と人間の尊厳及び価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念を改めて確認し・・・」 (いわば、これらが欠けていたところから起きた戦争と言うとらえ方。国際紛争を平和的手段によって国際の平和及び安全並びに正義を危なくしないよう解決し)。

ポツダム宣言 6、吾等ハ無責任ナル軍国主義カ世界ヨリ駆逐セラルニ至ル迄ハ、平和、安全及正義ノ新秩序ガ生シ得サルコトヲ主張スルナルヲ以テ日本国民ヲ欺瞞シ之ヲシテ世界征服ノ舉ニ出ツルノ過誤ヲ犯サシメタル者ノ権力及勢力ハ永久ニ除去セラレサルヘカラス。

3, 「帝国主義」のとらえ方・・・渡辺治「講座・現代日本 I 現代日本の帝国主義化—形成と構造」『新しい戦争』の時代と日本

帝国主義国家間の植民地再分割戦争と第二次世界大戦後の帝国主義——「現代帝国主義」論。

帝国主義は死語になった?。なぜ、帝国主義概念を使うのか。2つの含意。レーニンらが展開した帝国主義論の世界像の2つの核心、帝国主義論が注目した現代世界についてのこの2つの特徴は・・・有効として、近年ではいたく不評であり、一時期はほとんど死語と化した。が、「帝国主義」概念を使い、現代帝国主義の特質・正体をとく。関連して政党として初、日本共産党23回大会で43年ぶりの綱領確定で、レーニンの帝国主義論、植民地再分割の帝国主義戦争の必然性、不可避性の土台が崩れているとして否定。世紀論、世界論を展開。関連して、未来論やそれへの発展過程を論じる中で、現在、「市場経済をとおして社会主義へ」と資本主義を離脱していく国の「国際社会におけるその政治的、経済的軽さには、20世紀初頭のソ連誕生の時点をはるかにこえるものがある」とせつめいする。これもまたはじめて。人類史上、はつの社会主義国誕生、単一の資本主義社会体制の破壊という歴史的事件より、はるかに重いと説明する。

「現代帝国主義論」、次回からの戦後世界、現代社会学習のポイントに。

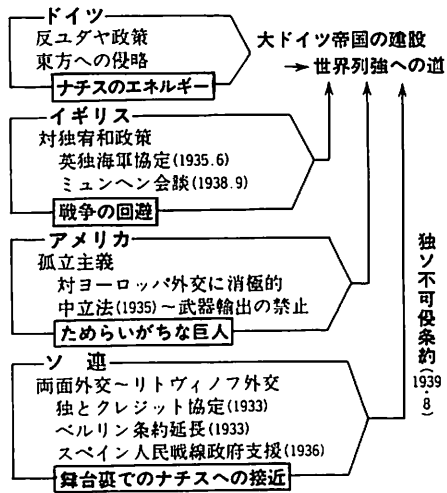
「旧来のように植民地や勢力圏という領域的支配圏に区切られた世界ではなく・・・列強帝国主義の時代とことなり、大国間の強調と同盟を特徴とし、また現代主義の戦争も帝国主義間戦争ではなく、自由な市場秩序を攪乱する「ならず者国家」に対する共同の戦争という形をとる」。

「第二次世界大戦後の世界は、レーニンらが帝国主義論で検討した古典的帝国主義論の様相とは大きく異なる展開を示した。・・・その際だったのは、第二次世界大戦後に古典的帝国主義の植民地・勢力圏が崩壊し、そのかぎりまで世界の国々の「平等」が達成されたことである。帝国主義と言う概念が、大国による特定の領域の排他的支配と言う意味でつかわれていたことから考えると、植民地の崩壊は、帝国主義概念の有効性の消滅を強く示唆した」 (渡辺・新しい戦争 26～27頁)。

→ 帝国主義論

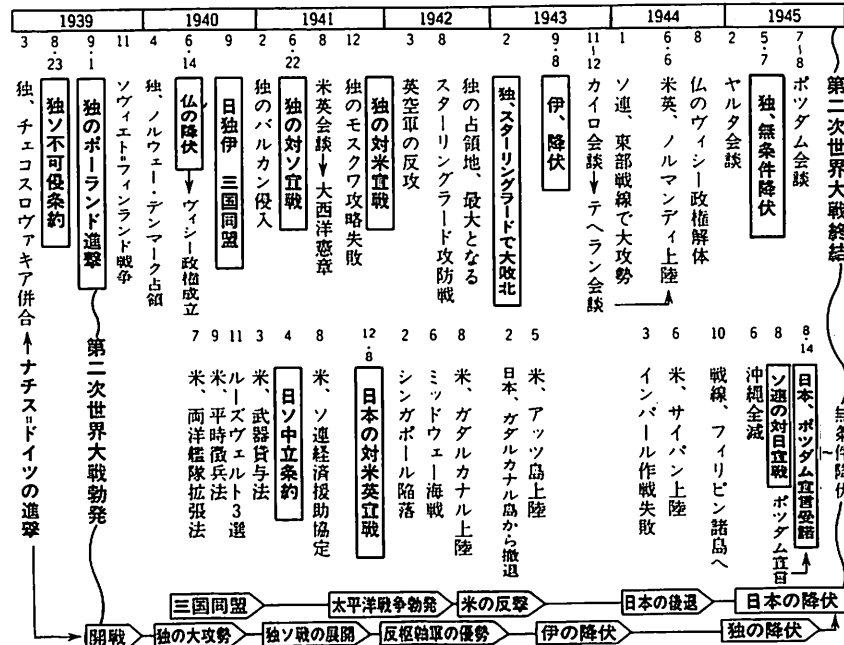
テーマ56 第二次世界大戦

【大戦の背景と米英ソの動向】



- 1933. 1 ヒトラー、首相となる
- 3 ルーズヴェルト、大統領就任
- 12 米、ソ連を承認
- 1934. 9 ソ連、国際連盟加入
- 1935. 5 ソ連、仏及びチェコと相互援助条約
- 10 伊、エチオピア侵略
- 1936. 3 独、ラインラント進駐
- 7 日本、中国への全面的侵略開始
- スペインに内乱開始
- 10 ルーズヴェルトの隔離演説
～中立政策の破棄を示唆
- 1937. 11 日独伊防共協定
- 1938. 3 独独合併(アンシュルス)宣言
- 9 独、ズデーテン進入
- 11 ソ連・ポーランド不可侵条約
- 1939. 3 チェコスロヴァキア解体
- 9 独、ポーランド侵入
⇒第二次世界大戦へ突入

【大戦の経過】



ナチス=ドイツの進撃

1933年1月、政権を担当したヒトラーは、巧みに党勢を拡張し、34年総統(フェーラー)と称して独裁権を握った。ナチス=ドイツはヴェルサイユ条約の破棄を標榜して国際連盟を脱退し(1933)、35年再軍備宣言を行ない、36年にはロカルノ条約を破棄してラインラントに進駐し、とどまることをしらぬ進撃を続けた。

イギリスの対独宥和政策

1935年のドイツ再軍備宣言に対し、伊・仏・英3国はイタリアのストレーザに集まり、抗議声明を発表した。しかしそのわずか2ヵ月後にイギリスは単独でドイツと海軍協定をむすび、フランスをおさえ対独宥和政策に傾いていった。このことはミュンヘン会談にもあらわれ、ナチス=ドイツをして世界列強への道を容易に歩ませる結果となった。

米ソの動向

国際政治での主役であった米ソ両国は、ヨーロッパという舞台への登場に慎重にしていた。アメリカでは、1933年ルーズヴェルト(在任1933~45)が政権を担当したものの、恐慌打開という国内問題に忙殺され、伝統的な孤立主義にのっとり、35年には中立法を制定し、武器輸出を禁止した。一方、ソ連も自国の工業化を優先して、むしろ舞台裏ではナチスに接近していた。

第二次世界大戦

ドイツは1938年ズデーテン地方を併合し、39年ソ連と不可侵条約をむすぶと、ついにポーランドに侵入した。英仏はドイツに宣戦し、第二次大戦の幕はきりおとされた。40年5月からドイツの西部大攻撃がはじまり、同年6月フランスは降伏した。41年に入り独ソの関係が悪化し、独ソ戦が開始。また同年12月に日本の対米宣戦はアメリカを戦争にまきこみ、連合国の総反撃の前に日独伊は敗北する。

太平洋戦争

日本の真珠湾攻撃にはじまる太平洋戦争は、緒戦は日本軍の電撃戦が功を奏したが、42年6月のミッドウェー海戦で大敗して戦局は日本に不利に進展した。45年5月のドイツの降伏について、同年8月、日本はポツダム宣言を受諾し無条件降伏を余儀なくされた。原爆の投下、ソ連の対日宣戦は、日本の劣勢をだめおしするものであった。

- 次の短文はいずれも第二次世界大戦に関連するものである。正誤を○、×で答えよ。
- ×1. ソ連はスペインで人民戦線政府を支援するなど一貫してナチスに批判的であった。
 - √2. アメリカはヨーロッパの国際政治に1930年代ははじめから介入し、ナチス=ドイツを牽制した。
 - ×3. 第二次大戦前、フランスは終始イギリスと歩調を合わせ、ヒトラーに対する抑制的措置をとったことはなかった。
 - 4. ヒトラーはドイツ民族のための新しい生存圏を東方、つまりソヴィエト=ロシアの方向にもとめた。
 - 5. 日本はドイツ・イタリアと三国軍事同盟をむすび、ソ連とも中立条約をむすんだ。

テーマ57 第二次世界大戦関係の諸会議

〈関連事項〉

38.10 ドイツのズデーテン侵入
39. 9 ドイツのポーランド進撃
40. 9 日独伊三国同盟

41. 6 独ソ戦開始
41.10 ドイツ、モスクワ攻撃
41.12 日本の対米英宣戦
42. 8 スターリングラード攻防戦

43. 5 連合軍、北アフリカ占領
43. 7 イタリア降伏
43. 8 第1次ケベック会議
43.10 米英ソ三国外相会議

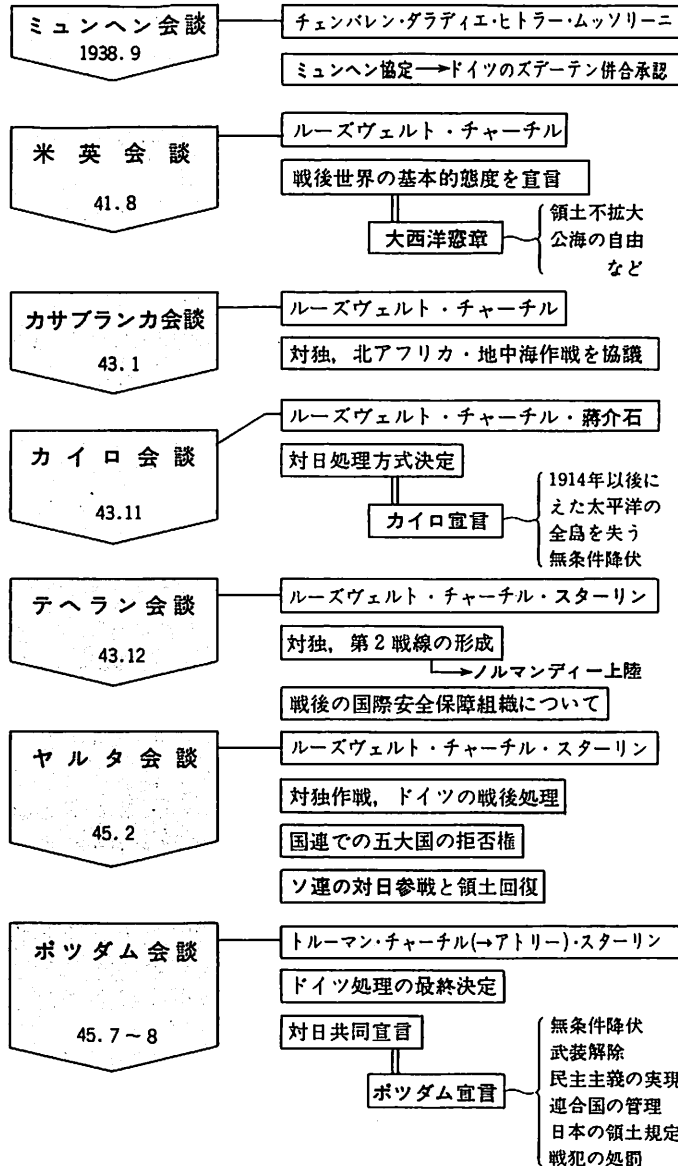
44. 6 ノルマンディー上陸
44. 8 ダンバートン=オクス会議
~10

45. 4 サンフランシスコ会議
↓
国連憲章

45. 4 ルーズヴェルト死亡
45. 5 ドイツ降伏
45. 6 沖縄全滅

45. 8 ソ連の対日参戦
45. 8 日本、ポツダム宣言受諾

46. 1 国連第1回総会



ミュンヘン会議 世界恐慌を契機に独・伊・日などいわゆる“持たざる国”では民主主義を否定する全体主義的政権が現われ、侵略戦争が着々と準備されていった。その総決算が第二次世界大戦である。ナチスの侵略に対し英・仏は対独宥和策をとったが、それは社会主義国ソ連の強大化を恐れてのことであった。ミュンヘン会議は、ドイツのチェコ解体・併合を容易にし、第二次世界大戦を導く会議であった。

国連憲章 連合国側は、大戦中しばしば会議し、戦争指導と戦後の平和機構について協議した。1941年の米英会議はアメリカがその孤立主義を捨てて参戦体制に加わったことを示す会議でもあった。平和機構については、1943年10月、モスクワでの米英ソ三国外相会議で構想が表明され、44年のダンバートン=オクス会議で原案ができ、45年のヤルタ会議で一部修正、ついで同年春のサンフランシスコ会議で国連憲章を制定した。

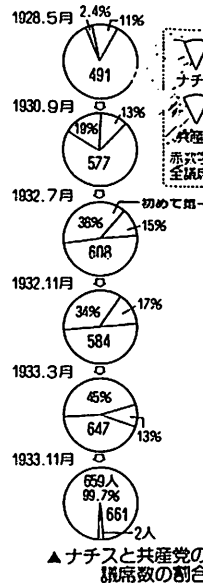
第二次世界大戦 大戦当初、枢軸側は奇襲作戦が功を奏し、42年秋にはドイツの占領地は最大となった。41年末に参戦した日本も約半年間に真珠湾をかわきりに、香港・マライ・シンガポール・スマトラ・ビルマへと進撃した。42年末から連合国側の反撃が開始される。ミッドウェー海戦、スターリングラード攻防戦、連合軍のアフリカ上陸は反撃の転機であった。

諸会議 カイロ会議は米・英・中が対日軍事行動を協議したもので、ポツダム宣言の基礎となった。テヘラン会議は対独作戦について、その規模・時期について意見の一致をみ、ノルマンディー上陸作戦が決定された。スターリンが参加し、米大統領が直接にソ連首相と会談した最初のものであった。ヤルタ会議は、対独戦の早期完了と戦後の処理問題が合議され、ドイツ降伏後のソ連の対日参戦が決められた。

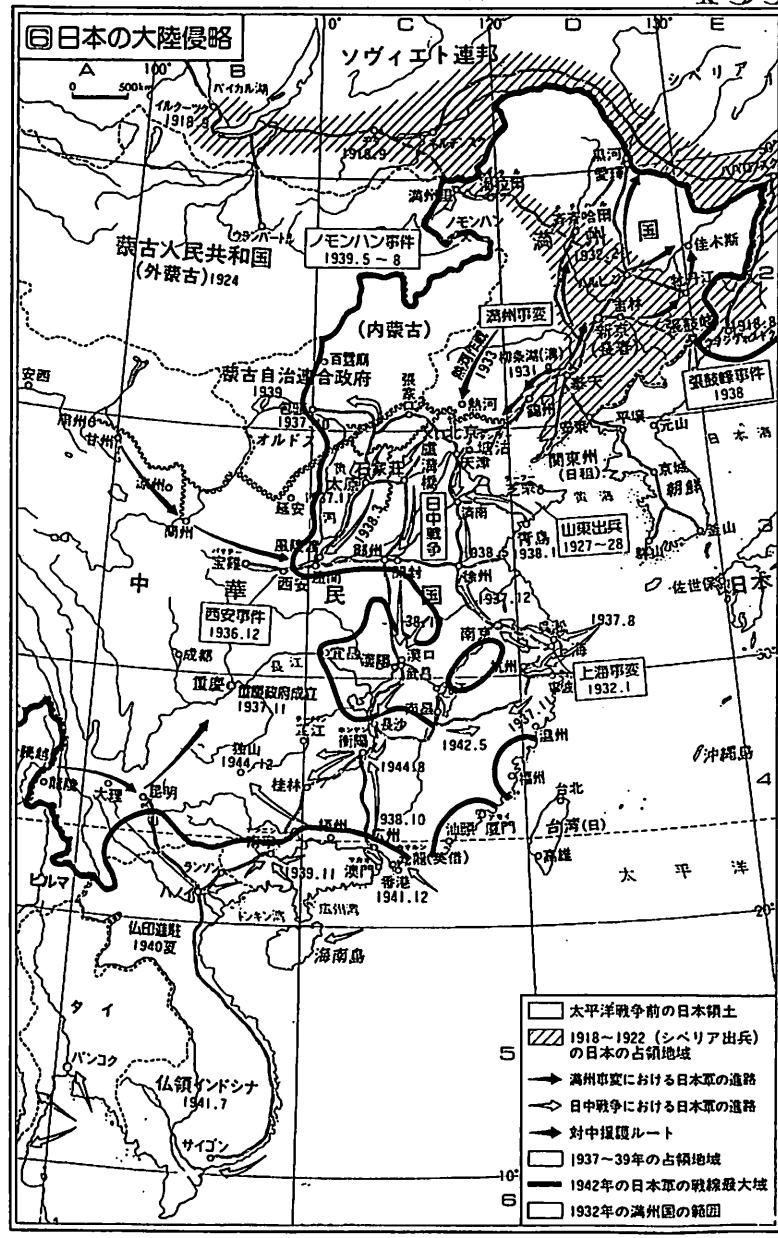
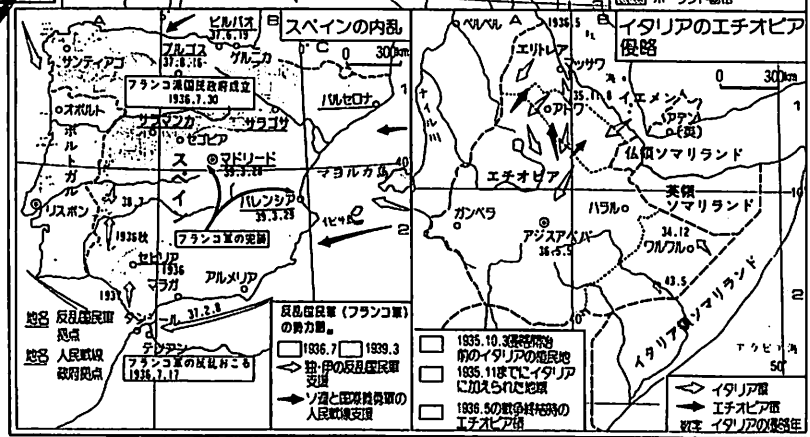
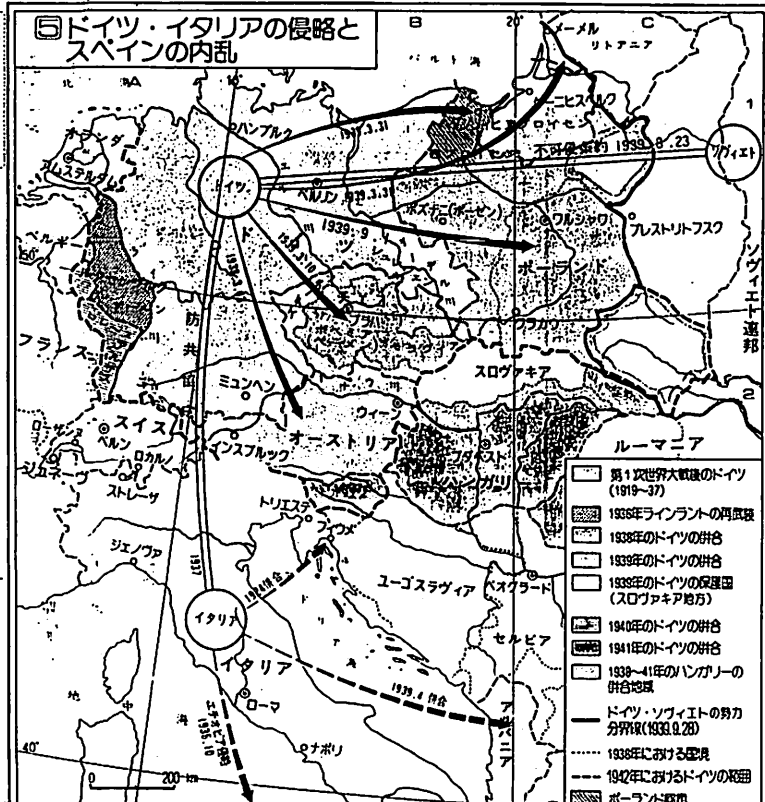
ポツダム会議 ポツダム会議は7月17日~8月2日に行なわれ、対日共同宣言(ポツダム宣言)が発表され、8月14日、日本はこれを受諾した。日本は同年9月2日、ミズーリ号上で降伏文書調印、ついで南京で対中国の降伏調印が行なわれた。

問題

- ①カイロ会議、②ヤルタ会議、③ポツダム会議について下の間に答えよ。
- 次の文のうち正しいものを1つ選べ。
 ⑦ ①②③ともドイツ降伏後に行なわれた。④ ①③はドイツ降伏後に行なわれた。
 ⑧ ②③はドイツ降伏後に行なわれた。⑤ ③だけがドイツ降伏後に行なわれた。
 - 次の人物のうち上の3つの会議に出席したのはどれか。
 ⑦トルーマン ①チャーチル ②ルーズヴェルト ③スターリン
 - ③が行なわれたのはどこの国か、次から選べ。
 ⑦モロッコ ①トルコ ②エジプト ③ソ連
 - ソ連の対日参戦が決定された会議はどれか。 B
 - ノルマンディー上陸をきめたテヘラン会議は、①②③のうちどの会議のあとか。



▲ヒトラー (1889~1945) 青年時代をウィーンの貧民街ですごした。絵や設計図をかいてその日暮らしたという。民衆の心をつかむのが天才的うまく、1933年には政権を握り、親衛隊と秘密警察による全体主義体制を形成。



太平洋戦争前の日本領土
 1918~1922 (シベリア出兵) の日本の占領地域
 満州事変における日本軍の進路
 日中戦争における日本軍の進路
 対中援護ルート
 1937~1939年の占領地域
 1942年の日本軍の戦線最前線
 1932年の満州国の範囲

敗戦——解放期に立てられた世界・日本の国家形成の基本原則

——人類史が近代・20世紀後半で到達した価値——なにが、どう獲得されたのか。その後の攻防・対決をどうして、どんな運命をたどるのか、と言う視点で戦後史。「新しい歴史教科書の会」などや、あやまった歴史認識を主張する人たちの論理構造は、戦前と戦後の根本的違いを無視して偉大な明治維新、アジアで最初の議会など（司馬遼太郎も明治維新、明治天皇賛歌で、軍人、軍閥が誤ったという史観）と、近代化一般論で、ひとからげで歴史の流れを説明する。歴史観の根本につながる問題。大日本帝国憲法と日本国憲法の決定的違い、人間の尊厳と人格観、武力によらない平和実現の道の提案を根底にすえた新憲法こそ、現代の出発点。この学習が戦後史を見ていく視点ゆえ今日のレジメに。

04.2.28 第10回歴史講座

1、04年2月25日「憲法改悪反対運動の推進をめざす交流・全国会議」・・・戦後、確立されてきた新憲法体制の曲がり角ともいえる改悪攻撃に対して、全国で取り組まれている改悪ノ一の運動の報告。また、金沢区民集会のアピールに、今日の憲法状況と、改悪阻止の主張が述べられています。この3年ほど憲法学習を重ねてきたうえに、今日の事態に対して、有事法制に反対する連絡会を結成し企画された集会で、アピールを書いたもの。第二次世界大戦の結果（前回学習した、反ファシズム統一戦線の勝利）獲得した成果としての新憲法体制の原点、そのいのちの深い把握が、いまこそ求められているという問題意識で、書きました。以外に憲法のなかみを知らない人が多いことが、運動の中ででてきました。

2、前回、9回の資料。「テーマ別世界史」より、4頁分の図式化した資料。第二次世界大戦に流れていっている連合国・世界の考え方、価値観。

3、戦後の出発を知るための資料。

人権保障・・・世界人権宣言 国際人権宣言 女子差別撤廃条約 子どもの権利条約など。

国連憲章前文。「われら連合国の人民は、われらの一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、基本的人権と人間の尊厳及び価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念を改めて確認し・・・」（いわば、これらが欠けていたところから起きた戦争と言うとらえ方。国際紛争を平和的手段によって国際の平和及び安全並びに正義を危なくしないよう解決し）。

ポツダム宣言 6、吾等ハ無責任ナル軍国主義カ世界ヨリ駆逐セラルニ至ル迄ハ、平和、安全及正義ノ新秩序ガ生シ得サルコトヲ主張スルナルヲ以テ日本国民ヲ欺瞞シ之ヲシテ世界征服ノ挙ニ出ツルノ過誤ヲ犯サシメタル者ノ権力及勢力ハ永久ニ除去セラレサルヘカラス。

GHQ五大改革指令 (45.10.11) ——「婦人解放と男女平等、労働組合の結成・助長、教育の自由主義化、国民に恐怖感を与える諸制度の廃止——専制政治からの解放、経済の民主化」。極東委員会16原則。

B・シロタ・ゴードン「憲法に男女平等起草秘話」（土井たか子と対談。岩波ブレット。14条法の下の平等・貴族の禁止・栄転。24条家族生活における個人の尊厳と両性の平等の条文草案を書いた人。）

とりわけて、婦人の改放、土地改革は、後進国近代化のポイント。

『日輪の遺産』浅田次郎 345頁「有能な通訳を得たマッカーサーは、記者団を引きずるようにして早足で歩き出すと、まるで用意した原稿を読み上げるような速さでしゃべりだした。・・・”おい、ぼんやりするな”と、アイケルバーガーがイガラシの背ヲ叩いた。・・・”諸君らに対して二度とは言わない。まず、軍事力の徹底かつすみやかな解体。次に代議制政府を作り、女性に参政権を与える。政治犯の釈放。農地の解放。自由な労働運動を認め、自由経済を奨励する。警察の強権を廃止し、公平な、責任なる新聞を作る——さて、これらを実現することは、この国にとって奇蹟だ。しかし、私は奇蹟を起こす。そのためにメルボルンからやってきた”・・・」

五大改革の中味をマッカーサーが滑走路に降り立ったとき、宣言する場面。2世の通訳が、この野戦の

憲法前文

「ビラウラ」18歳の女子高生が1人で5,358人の署名を集めた。この派手な行動は、講義で「どうして2回も、戦前との証！
武加の平和をこゝ
どうしてビラウラ

英雄が間違いなく一個の天才であると確信していく。ウイロビー少将、ホイトニー准将、トルーマンなどやたらに懐かしい人々が多数登場してくる。

憲法の基本原則。 原則、明治憲法と決定的に違う (大日本帝国憲法・欽定憲法) + (教育勅諭) ^{日本文学 v.s 教育基本法}

- 1, 国民主権と国家主権。2, 恒久平和、3, 基本的人権、4, 議会制民主主義、5, 地方自治の5つの平和的、民主的原則

憲法前文と9条の背景 (上田「戦争・憲法と常備軍」25頁)。

「マッカーサー・ノート」大西洋憲章、ポツダム宣言、国連憲章、欧米諸国の憲法

憲法前文の不戦の誓いと恒久平和主義は、国連憲章前文を原型としており、「全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」という平和的生存権の規定は「すべての人類が恐怖及び欠乏から解放されてそのいのちを全うすることを保障するような平和が確立される」という太平洋憲章の条文にその原型をもっている。

9条の戦争放棄と「武力による威嚇及び武力の行使」の放棄は、不戦条約と大西洋憲章、国連憲章の規定を原型とし、ポツダム宣言の比軍事化を具体化したもの。「日本国憲法は、世界人類史の豊かな経験の総括である」と渡辺洋三教授はいう。(非)

『運動のなかの労働法』 沼田稲次郎著 労働法の存立条件。「勤労大衆が集団的に意思を表現する自由をもつということが、政治の基本原則となったということが、戦後日本の民主主義を支える支柱であった。そしてかかる条件こそが、労働者の権利を保障する労働法制の存立条件。・・・労働運動が治安立法の対象となってしまうれば労働法だって枯死させられてしまう。治安立法から団結を守ることは、労働法の土台を確保し、労働者の権利を守るための第一義のみち・・・労働者集団が治安立法のくさりから解放されるかぎり、労働法はなりたつ」・・・として、戦前の絶対的天皇制度をささえた治安維持法、特別高等警察(特高)システムのもとでは労働法は成立しないとす。

敗戦5ヶ月後にして、憲法よりいち早く、労働組合法が公布された(施行-1946.3.1 憲法公布 46.11.3 施行 47.5.3)。国際社会から勤労階級の団結体による天皇制をささえた官僚システムを打ち砕き、洗い流す高波、民主化の期待。

産業構造、階級構造変化。 共産党22回大会の前衛党とり、労働者階級と同時に「日本国民の党」。

勤労者	1950年 38%	1960年 51%	1980年 60%	第一次産業	第二次	第三次産業
				1950 48.3%	21.9%	29.8%
				1985 9.3%	33.9%	57.7%

「帝国主義」のとらえ方・・・渡辺治「講座・現代日本 I 現代日本の帝国主義化—形成と構造」『新しい戦争』の時代と日本」

「第二次世界大戦後の世界は、レーニンらが帝国主義論で検討した古典的帝国主義論の様相とは大きく異なる展開を示した。・・・その際だったのは、第二次世界大戦後に古典的帝国主義の植民地・勢力圏が崩壊し、そのかぎり、世界の国々の「平等」が達成されたことである。帝国主義と言う概念が、大国による特定の領域の排他的支配と言う意味でつかわれていたことから考えると、植民地の崩壊は、帝国主義概念の有効性の消滅を強く示唆した」(渡辺・新しい戦争 26~27頁)。

『^{180~1947} 憲法下の国へ 有る法制のシナリオ (渡辺、三輪、山根) 旬報社刊』

21世紀日本のための憲法
前文にのべて世界の平和と各諸国との協力の
「平和憲法」として。武力による平和実現の道」と
日月示す憲法。

高橋生の今村さんの請願趣旨

第二次世界大戦後の世界秩序＝冷戦の40年――どのような秩序か。なぜ、どのようにして体制はつくられ、なぜ崩壊していくのか。日本はどうからむ？

世界史・日本のポイントとなる事件を追って

1、もう一度、戦後3年弱の期間のみ (45-47年)
解放期の確認・象徴と占領政策の転換

イ)「神の書」として示された教育勅語による臣民教化の目的を、人間の書として、一人ひとり人間の性の開花をめざす教育目的、主権者国民の自己形成へと転換していくという、実に革命的できごとが進行」(大田堯「わたしたちの教育基本法」)1947.3.21.成立した教育基本法の意味。人格の完成を教育目的。天皇の臣民・家来としてののちを捧げる人間像からの転換。今日の改憲と一体の教育基本法改悪は人格否定、その根底にある人間の尊厳をはずしたところでの改悪)。大日本帝国憲法と日本国憲法の違い。

ロ)「政治的民事的及宗教的自由にたいする制限の撤廃に関する覚書」(ポツダム勅令。新憲法施行後はポツダム政令一官公労の労働基本権剥奪や、最近起こった休日のピラマキが逮捕された事件などの根拠政令201号"1948.7")。①天皇・皇室・政府に関する自由討議の保障、②、治安維持法・思想犯保護観察法・国防保安法・軍機保護法などの弾圧法令の撤廃、③ これら法令で拘束・投獄されている者の10月10日までの釈放、④ 内務省警保局・警視庁・特高警察などの「機能廃止」⑤内務大臣・警保局長・警視總監・都道府県警察部長・特高警察課員の罷免。

「GHQ五大改革指令」(45.10.11) ——「参政権付与により婦人解放と男女平等、労働組合の結成・助長、教育の自由主義化、国民に恐怖感を与える諸制度の廃止一専制政治からの解放、経済の民主化(敗戦時の8月鉱工業生産力は戦前水準である34から36年平均の10～20%。実質賃金10%程度、インフレのなかで。12月には、509組合、38万人組織。46年6月には1万2千組合368万人、組織率41.5%に。47.2.1ゼネスト時の3月、446万人、組織労働者84%を傘下におさめる全国労働組合協議会・全労連結成。)

2、冷戦体制のねらい。原因。米国の世界戦略。日本における関係。
世界と日本国民の民主的要求で戦後当初の米国は、米国の対日政策の範囲内の民主化政策。それを超える民主化運動には2.1ゼネストのように弾圧・干渉する。その占領政策の転換の事態。背景。日米関係。現代帝国主義の発端(戦争と現代)総論。渡辺。以下冷戦前期、後期を通した「現代帝国主義」の世界戦略も)。

「アメリカ帝国は、冷戦期の当初から対ソビエト封じ込めといういわば戦略的、政治的目標に加え、それとは別に、自由な世界市場の再建、形成、拡大という目標をかかげていたという点である。この二つの目標の関係を見ると、後者の方がより長期の目標であり、前者は、後者の目標の第二次世界大戦後における具体化という関係」とし、冷戦の前期1945年から70年代後半、アメリカを盟主として現代帝国主義が形成・確立を見た時代、現代帝国主義の第一段階。ところが70年代後半を境に現代帝国主義は大きく変貌を初め、その第二段階、現代帝国主義の再編期へ。再編を促したのは、著増した生産力を背景とした資本のグローバル化、多国籍企業化であった」・・・日本の占領政策の転換、朝鮮戦争、ベトナム戦争、各種紛争の多発やその性格の変化、さまざまな世界、米国に従属した日本の位置を含めた戦後史の展開も、この現代帝国主義の形成、展開の中で起こったこと。現代帝国主義の形成とその特質・現代帝国主義の4つの特徴で展開される視点で、冷戦期40年を解明していく(現代帝国主義の4つの特徴、32頁以下の要点を、戦後史を見る視点としてかいつまんで報告する。(以下にのべる日本の戦後史での事件の意味内容、位置づけを明確にとらえるために)。第一次世界大戦以後からのアメリカの自由市場形成戦略やそれが実現できなかった戦争期をへての第二次大戦後の出発。逆に冷戦の終焉についての定義など、興味つきない(例。米帝国の突出、盟主化、自由市場秩序形成の土台。第二次大戦後、戦時下の総動員体制下で生産力を著増させた米国は資本主義世界の工業生産の53.9%をしめた。この生産の市場確保のため。36頁。中林・世芳史は米国1国で65%占め。363頁)。

「冷戦の終焉は米帝国を盟主とする帝国主義陣営の世界市場拡大の衝動とそれに対抗する社会主義圏との争闘に決着がついたことを示す。ソ連・東欧圏の崩壊と言う形での直接の要因はレーガン政権が仕掛けた軍拡競争の負担にソ連経済が押しつぶされたこと・・・その背景には資本のグローバルな展開による資本主義諸国の生産力の著増と生産性の向上による競争圧力にも耐えられなくなったという事態」(68頁)。以下の事件を、以上の視点で見えていく。

復習
野原
↓
復習
M
の
り
と
て
↓
全
衆
糾
紛
と
↓
そ
の
た
り
か
ら
の
生
産
力
増
進
と
↓
そ
の
た
り
か
ら
の
生
産
力
増
進
と

45.2.20
このころ
野村 阿久
は?

アフリカと日本・ヨーロッパの貿易的結び

世界経済を一手に握る
豊富な食料を手にした
支那

冷戦の開始・1946.3.5 訪米したチャーチル「鉄のカーテン」演説。東西冷戦の初演説。「いまやバルト海からアドリア海まで、大陸を横切って鉄のカーテンがおりている。このカーテンのうしろはモスクワの支配に服従している。ソ連が望んでいるのは・・・戦争の報酬であり、権力と共産主義の無制限な拡張なのである」。米英合意のソ連牽制。トルーマン 47 年 3 月 1 2 日 特別教書発表。共産主義の「破壊活動」鎮圧のための経済援助を呼びかけたトルーマンドクトリン。(ギリシャ、トルコへの援助 (ドミノ理論の原型?)。6 月 5 日マーシャル国務長官、ヨーロッパ復興のマーシャルプラン。これの受け入れをめぐって分裂の悲劇激発。世界労連の分裂・自由労連誕生。仏・伊両国は援助に期待して、連立内閣から共産党閣僚を排除。ケナン「封じ込め政策」へ (昭和史 276 頁)。世界労働運動の歴史下 363 頁以下。

ヨーロッパへの中心として

対日占領政策の転換。1948 年 1 月 6 日。ロイヤル米陸軍長官演説。日本の経済的自立が、米国の負担軽減だけでなく極東における「全体主義」の防波堤になる、といい対日占領政策全般の再検討を公式に声明。中国革命の進行解放直前。ベルリン封鎖 (4.1 開始 6.26 空輸開始)。ユダヤ国家成立 (5.14)。大韓民国 (8.13)、朝鮮民主主義共和国 (9.9。南北分裂固定化)、政令 201 号 (7.31 公務員の労働基本権剥奪)。極東裁判東条ら絞首刑 7 人 (11.12 判決 12.23 執行)。経済安定 9 原則 (12.18)

1949 年夏。世にも不思議な 3 大フレームアップ事件—なぜ下山・三鷹・松川事件。分裂の季節。レッドパージはじまる。4.4 西側 12 ヶ国による北大西洋条約機構 (NATO) 結成。10.1 中華人民共和国設立。

朝鮮戦争 (1950.6.25 ~ 53.7)、朝鮮戦争特需・日本資本主義の復活。経営権確立。総評結成。警察予備発足。再軍備発進。(8 月)

1951,52 講和条約。日米安保体制。講和条約発効期に労働運動への弾圧—白鳥・青梅・メーデー・吹田・菅生・芦別・大須事件など謀略事件パレード。独立後の治安体制の確立。

1955 高度経済成長。鉱工業生産の戦前水準 2 倍越え、神武景気。登りの 15 年へ。下りの 15 年。春闘、母親大会、日本のうたごえ

60 年安保闘争。2000 ヶ所以上の地方共闘会議。安保改定阻止国民会議 23 回の全国的統一行動。フランスデモ。エネルギー政策の転換。日本近代の中で軽工業国から重化学工業国へ。石油産業・文化へ。期待される人間像。能力主義管理・日経連。松川事件被告全員無罪。公正裁判にむけた統一戦線 700 万人、正暴法、勤評反対闘争の蓄積を土台にして安保闘争共闘できる。

警察予備

* 世界中の植民地独立の波、60 ~ 62 年に 27 ヶ国国連加盟。ブラックイヤー。戦前 4 ヶ国のアフリカは 53 ヶ国に。20 世紀の最大の特色、植民地の崩壊体制。(国連原加盟国 51 ヶ国)。

64 年 東海道新幹線、オリンピック、ベトナム戦争・北爆開始。文化大革命 13 年後の 77 迄。ベトナム戦争 1964 ~ 1975 パックスアメリカーナのくずれ。ドルショック、双子の赤字。

- ⑥ 中/ソ対立本格化。
- 1987. 5. 東南アジア 連合発足 7.EC 正式発。 閣僚
- 1968.5 ベトナム和平パリ会談開始
- 1974 第一次石油ショック。世界不況へ。春闘以後、現在まで敗北。日本労働運動は体制内に。
- 1977.8 文化大革命終結宣言。
- 1979 第二次石油ショック。アフガンへソビエト侵略、10 年間。'80 年 イラン・イラク戦争 (9 月) ~ '89 停戦
- 1985 ブラザ合意。円高不況。日米経済戦争。株、土地本位制。一億総投資時代。バブル経済、90 迄。
- 1999 6 フランス革命 200 年祭。子どもの権利条約採択 11.20 11 ベルリンの壁解放。
- 1990 11 ドイツ統一
- 1991. 1 湾岸戦争勃発。6 週で集結。7 ワルシャワ条約機構、解体。12 ソ連邦解体。独立国家共同体へ。

レーガン政権。「強いアメリカの再生」
政策の徹底。「ソ連脅威論」と
新自由主義改革—グローバル
経済構造改革 (65 頁)
(81 ~ 89 年の大企業改革)
地域条件からグローバル市場へ
(65 頁)

長時間。過密労働の製造業は自動車、家電製品の安価な
製品の洪水による輸出。
競争力 1 番、不況を脱出。「1102 円を 70 円」への
下落 2 位の輸出競争力大団圓。85 年、日本経済は
競争力 1 位の債権国、10 輸出 1 位。米国の不振と
ひきあえ。起った。株の打戻しと日本の 15 年程の輸出競争
力向上のおかげ。90 年必死の努力。

診断書——7つの大病に冒された現代社会——資本主義社会の賞味期限切れの証

——病原は自身の体内から発生。なぜ、どのようにして。

どう解決するか処方箋——**病原を除き、資本主義社会をどう乗り越えるのか。**
どんな未来社会が描けるのか。そのキーはなにか。

04.5.22 歴史講座最終回

最終回です。伝えたかったことは、かつて起こった事実や現象、いま起こっているそれが、なぜ生じたか、その法則を掴むような目線を身につけていきたいという思いです。さまざまな教科書、歴史書の圧倒的特徴は、起こった現象や人物のあれこれを述べてはいますが、事実の基本的性格・本質がみえないのです。なぜそれが起きたのか、その原動力は？などが無いのです。近代史の総括的把握として、現代社会の状態とその原因、克服していく未来社会の基本的条件などを、くくっておきたいのです。幸いにも小松立教大教授が雑誌「経済」5月号で「現代資本主義にとって国家の役割はどうなったか」という22頁のインタビューを掲載している。大変刺激的で、新鮮な問題視角と提起いっぱい。もとより渡辺治教授の「現代日本」シリーズ、戦争と現代シリーズ、一連のポリティークシリーズなど、実に労作。賃金と社会保障041月合併号の**新版・帝国主義論（小谷崇）論文**。

佐々木さん、三宅に帰るので参加できず残念。映画・松川事件をみた。良く知らなかったし関心持たなかったが学習会で権力犯罪を知ったので、見たという。嬉しかった。1年がかりで、被告団に取材をして「松川15年」をつくった時の話をした。

1、資本主義の7つの主な矛盾とはなにか。なぜ生まれたか。「巨大に発達した生産力を抑制できないとい資本主義の矛盾」。原因が解れば、解決できる？

- ① 広範な人民諸階層の状態の悪化
- ② 貧富の格差の拡大。

③ くりかえす不況と大量失業***恐慌。1825年最初に英国を襲って以来世界経済を周期的に攪乱。1~3回まで英国。1857年に初の世界恐慌。~~19回起るまで~~。資本主義の寿命がつかた証拠と名づけた恐慌を19回経験してもいまだに解決策なし。くわえて地球と人類の将来さえ保障できなくなったというのが現状。環境、資源、食料問題など、地球の生命維持装置機能の破壊、崩壊状況。(21世紀と科学の目53頁)。なぜ、解決できない。「利潤第一主義」から「生産のための生産」にすすみ、その生産力は企業や資本家の儲けのために使われる。~~社会的生産も資本主義的取~~
~~得分産~~「生産の社会的性格と取得の資本主義的性格との矛盾」とか「蓄積のための蓄積」「生産のための生産」から、自分の体制の基盤を自ら掘り崩す道を突進する体制(科学的社会主義を学ぶ・不破117頁以下)。ここを変えればよい。生産手段の社会化。労働法「資本主義社会に即自的に対自的な異質な社会集団が誕生する」。~~ここを変えればよい~~。キーは生産手段の社会化。失業350万前後。戦後初。1949年でも100万人。フリーター。全労働者の8割りをパート化95年「新時代の日本の経営」。労働形態の根本転換。
「社会化」とは?

- ④ 国境を越えた金融投機の横行——世界の1年間の貿易取引額6兆3094億 ドル 。世界の為替市場で取引される1日の外国為替の額は1兆2千億 ドル 。実体経済の取引高は、金融投機の5日分。
- ⑤ 環境条件の地球規模での破壊
- ⑥ 植民地支配の負の遺産の重大さ
- ⑦ アジア・中東・アフリカ・ラテンアメリカの多くの国々での貧困の増大(南北問題)。世界中で1日1 ドル 未満で生活する人口は11億5千万人。アフリカ南部6人に1人が5歳までに死亡。

日本の状態。憲法改正、教育基本法、社会保障、年金・・・子ども期の喪失と2回にわたるユネスコ勧告のポイント。日本の社会の質をつく。過度の競争社会が生み出す。子どもの崩壊。

2、どうすれば7つの矛盾が解決できるのか。原因を取り除くキーはなにか。その過程を通して描ける資本主義社会の次に来る社会の基本はなにか。国家はどうなるのか(小松教授の展開)。生産手段の社会化が人間社会の進歩に役立つ3つの効能。その移行過程の方式や未来社会で押さえておく基本の性格など、口頭で。市場経済をとして社会主義社会を実現する、資本主義の枠内での民主的改革をとおして実現する未来。未来社会の定義、はずしてはならない基本的原則、未来社会を論じる場合のいましめなど口頭で。(綱領提案についての不破報告35頁以下。配分論、二段階論などレーニンの誤りーゴータ綱領にの初見解など前衛03年10月号「ゴータ綱領批判の読み方ーマルクス、エンゲルスの未来社会論」不破論文参照)。